

保土ヶ谷南部地区



わたしたちのまちの概況・特徴

- JR 保土ヶ谷駅周辺から国道 1 号線に沿った保土ヶ谷橋までの地域と、今井川に沿った丘陵地域で構成されています。
- 買物は駅前のスーパー・商店を利用する方が多いです。一方で、坂が多いことから、外出がしづらいという方もいます。
- 高齢化率は 23.5% で年々増加しています。
- 令和 5 年 3 月に横浜市保土ヶ谷地域ケアプラザが開設。利便性が良く、保土ヶ谷南部地区の活動拠点として皆様に喜ばれています。
- 地域防災拠点は、地区内で 3 つに分かれます（岩井町は①富士見台小学校、瀬戸ヶ谷町は②岩崎小学校と③瀬戸ヶ谷小学校）。
- 国道 1 号線沿いには歴史遺産が点在し、まち歩きをする団体が多く見受けられます。



スローガン

「お互いさま」と感じあえる地域
誰もが「SOS」を出せる地域

取組目標

様々なふれあいの機会をつくり、
地域での見守り活動を充実させます



見守り
・支えあい



いきいき健康



担い手づくり
・情報発信

介護予防・高齢者の見守り

具体的な取組

- 認知症勉強会
- 個別訪問
- 相談窓口の紹介
- 食事会、お楽しみ会

認知症勉強会



お楽しみ会の手話ダンス



子育て世代の見守り

情報発信

子育てサロン ポテト

子育て世代が孤立せず、
安心して子育てできる
よう、親子の交流・居
場所づくりを行います。

パラバルーン



- 広報紙発行
- 地域に住むすべての人に伝わりやすい
“やさしい日本語”^{*}を学ぶ勉強会の実施

^{*}やさしい日本語とは…難しい言葉を言いかえるなど、
相手に配慮して「わかりやすく伝えること」を大切
にした言葉です。



ふれあいの場づくり

- ボッチャで多世代交流
- 広く意見を聞く機会を作る
- ラジオ体操やスマホ講座
- こころの健康勉強会（本人・介護者）

ほっとなまちづくり会議



ボッチャ交流会



地域の方から出た「あったらいいな」の声を元に、新たな取り組みにもチャレンジしていきます。大人も子どもも、障害があっても無くても、日本人でも外国人でも、ここに住む全員が「お互いさま」と手を差し伸べ合い、困った時に「助けて」といえる地域を目指します。

最新の取組はこちら

